

(上級編)

ふくしまけんりつはくぶつかん けんがく
福島県立博物館 見学のしおり

福島県の秘宝を探せ！ — 上級編 —



ぜんぶ ひほう
全部で11の秘宝があるよ！

ぜんぶさが
全部探してみてね！！

令和元年6月21日修正

【見学の約束】

- ◆展示室は教室と同じです。勉強する場所ですから騒いだり、走ったりしません。
- ◆資料を長く保存するために、展示品にさわることができません。
- ◆展示室では資料を汚さないようにするため飲食はできません。
- ◆展示室で写真撮影をする時にはフラッシュをオフにします。
- ◆筆記用具は鉛筆を使います。マジック・サインペン・ボールペンは使えません。

福島県は、関東地方から東北地方への入口、また東北地方から関東地方への出口として、道路や船を使った交通の中心地のひとつでした。このような福島県の特徴は縄文時代から見ることができ、福島県はいつの時代も東北と関東地方の両方の橋渡しをする地域として、さまざまな文化や情報が行き来する重要な場所であったことがわかります。県立博物館には、福島県内の貴重な資料がたくさん展示されています。その中でも福島県の特徴がよく分かる11点を展示室で探してみよう。

(来館日) 令和 年 月 日 ()

(学校名)

(氏名)

◆A (原始) の部屋



【福島県の秘宝1】

展示室の中央には縄文時代の竪穴住居が実物大で復元されています。家の中をのぞくと料理や暖をとるために火を焚いた場所(炉)が床に作られています。これは複式炉と呼ばれるもので、同じような形の炉が福島県を中心に東北や関東、北陸地方にまで広がっています。

この炉には、どんな特徴があるでしょうか。

竪穴住居の中の複式炉をよく見てみよう！

- ①家の中央寄りに_____が埋められている。
- ②平らな_____や丸い_____を組み合わせて作られている。
- ③_____を焚く場所が_____で作られた部分と_____で作られた部分の2カ所以上ある。



【福島県の秘宝2】

展示室の中央には、弥生時代の稲刈りの様子を復元した模型もあります。稲刈りをしている女性の手許を見ると、この時代特有の石器を持っています。県内で発見されるこの石器は、ある地域で比較的簡単に手に入る石を使って作られていたと考えられています。その地域では、実際にこの石器を専門に作ったと考えられる遺跡も

発見されています。この石器の名前は何ですか。また、材料の石がとれる地域は、現在のどの市町村にあたりますか。

①石器の名前 ()

②石が主にとれる地域の市町村名 ()

◆B (古代) の部屋



【福島県の秘宝3】 東大寺に大仏が作ら

れた奈良時代は、伝染病が流行したり、災害や反乱が次々と起こったりして、社会全体に不安が広がっていました。聖武天皇は仏教の力で社会の不安を鎮めて国を治めようと、ある命令を出しました。玉川村江平遺跡から出土した木簡から、その命令が福島県でもきちんと行われていたことが証明されました。この木簡からわかる聖

武天皇の命令は次のうちどれでしょうか。

- ① 全国でお経を読ませる。
- ② 東大寺の半分の大きさの大仏を作らせる。
- ③ 地域ごとに代表者の中から3名を僧にする。

◆C (中世) のへや



【福島県の秘宝4】

源頼朝が征夷大將軍に任じられ名実ともに鎌倉幕府を開く3年前(文治5年:1189年)、源頼朝は全国の武士の頭になる総仕上げとして東北地方を治めていた奥州藤原氏を討つために大遠征をしました。この時、福島市と国見町付近が最大の激戦地となりました。特に国見町周辺には、

頼朝軍を防ぐための奥州藤原氏の最終防衛設備が作られました。頼朝軍の進軍を抑えるために奥州藤原氏が作ったものは、次のどれでしょうか。

- ① 石を高く積み重ねて土手状にした石塁
- ② 堀と土手(土塁)を2重に組み合わせた二重堀
- ③ 周囲に石垣と堀を4重の巡らせた館



【福島県の秘宝5】

左の絵は室町時代の京都のようすを描いた「洛中洛外図屏風」の中に描かれた将軍の屋敷です。この絵と展示室【C-6戦国の群雄】コーナーにある梁川城復元模型を比べて似ている点を見つけてみましょう。



【豆知識】 梁川城は陸奥国守護だった伊達稔宗の本拠地のお城だよ。

◆D (近世) の部屋



【福島県の秘宝6】

安土桃山時代に福島県の約2/3の地域を治めていた蒲生氏郷という武将は、天下統一に大きな役割を果たした有名な武将から派遣された人物です。福島県に来たこともあるこの有名な武将は、次のうち誰でしょうか。

- ① 織田信長 ② 豊臣秀吉 ③ 徳川家康

【豆知識】 この武将は、白河市を通過して会津若松市まで来たことがあります。



【福島県の秘宝7】

【D-5 町のにぎわい】コーナーには、江戸時代に使われた看板が展示されています。展示されている左の写真の看板は、福島市で当時、ある商売をしていた家に伝わっていたものです。この看板と関係のある言葉は下の3つのうち、どれでしょうか。

【ヒント】 看板の最初に書いてある文字は地名？
最後は「休み」「宿」「寓」

- ① 土農工商 ② 鎖国 ③ 参勤交代

◆E (近現代) の部屋



【福島県の秘宝8】

【E-4安積開拓事業】コーナーには、日本遺産に登録された安積疏水のようにわかりやすく説明した模型があります。郡山地域の農業を発展させるために行われた大規模な農業用水路を作る事業により、江戸時代と比べて農地が大きく広がりました。この模型からの問題です。安積疏水は現在でも使われていますが、水は

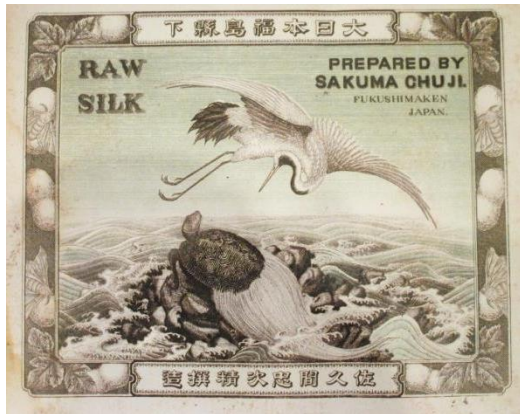
どこから引かれているのでしょうか。また、どうしてその場所から水を引かなければならなかったのでしょうか。

①安積疏水の水を取り入れている水源の名前 _____

②近くを流れているもう一つの水源の名前 _____

③この水源から水を引かなければならなかった理由

【ヒント】模型をよく見てね。土地の高さに注目！



【福島県の秘宝9】

【E-6日本の花形産業】コーナーには左の写真の資料が展示されています。これは明治時代に福島県で盛んに生産された「ある商品」に付けられたラベルです。この商品は何でしょうか。また、商品のラベルの文字は何語で書かれていますか。どうしてそのような言語を使ったラベルを商品に付けたのでしょうか。展示コ

ーナーのものをよく観察して答えを考えてください。

①このラベルを付けた商品は何？ _____

②ラベルに使われている言語名（何語） _____

ラベルにその言語を使った理由



【福島県の秘宝10】

展示室の中央北側には、ある乗り物の実物大復元模型が展示してあります。この乗り物は、今では考えられないものを燃料にして走っていました。燃料に使っていたのは何でしょうか。また、この乗り物が走っていたのは、いつ頃のことでしょうか。そして、その当時、ガソリン

を使わずに別な燃料で走っていたのは、どうしてでしょうか。

- ① 燃料に使っていたもの _____
- ② この乗り物が走っていた時期 _____
- ③ ガソリンではなく、この燃料を使っていた理由 _____

◆F (自然と人間) のへや



【福島県の秘宝11】

戦後の日本は物資が非常に不足しており、日々の暮らしに必要なものにも不自由な生活でした。国内で採掘できる石炭は燃料・エネルギーの中心として日本の復興を支える重要な役割を果たしました。いわき市の常磐炭鉱も関東地方に石炭を大量に送り出し、日本の復興を支えました。

【F-2 ぶくしまの鉱山】コーナーには常磐炭鉱で使われた道具が展示されています。炭鉱で使われた道具の中で興味のある道具を一つ選んで、名前と何に使うものか(用途)を書きましょう。

(道具の名前)

(用途)

